資料－２

高所法面掘削機による法面掘削工法

本技術は、従来人力作業により 20kg 級のコンクリートブレーカーを使用していた高所・急斜面の切り取り・切り崩し・掘削・伐根・整形・コンクリート法枠工の取壊し作業を機械化することで、高所危険作業の軽減と工期短縮を図るものである。

高所法面掘削機(ロッククライミングマシーン 01 型、03 型、06 型)は、従来のバックホウにウインチを搭載し、ワイヤーロープで本機を支え、リフティング装置により機械旋回台(動力部・運転席)を水平に保つことで斜面での作業を可能としている。斜面上部には、アンカーを設置し、ワイヤーロープを取り付け、それを巻き取り・巻き戻す操作により移動する。

崩壊・落石の予測される現場では、遠隔操作によるラジコン運転作業も可能である。

